

家庭での仏事

(1) 朝・晩のお参り（お勤め）

朝のお参りは正信偈、和讃をお勤めし、御文章を拝読します。

夜のお参りは正信偈のおつとめをします。

(2) 月忌参り（速夜参り）

故人の当月の命日を祥月命日といい、月々の命日を月忌（月命日）^{がつき}といいます。報徳寺では月忌参りのことを速夜参りといいます。地方によってはさまざまな言い方があるようです。当寺では古くから速夜参りの習慣があつて毎月命日に各家に訪問してお参りします。家によっては月に4回、5回お参りする場合があります。また、祥月命日だけお参りする場合があります。

(3) 年忌法要

- 一周忌法要と三回忌法要は、一年後の命日と、その一年後の命日に、それぞれ行う法要です。

故人の命日を通じて、み教えをお聞かせいただき、み仏の広大なお徳をたたえるとともに、亡き方のご遺徳を偲び、いよいよお念仏に生きるとの思いを深めさせていただくご縁とします。

- 三回忌以降は、七回忌（死亡の年を一として数えて第七年。以下同様に数える）、十三回忌、十七回忌、二十五回忌、三十三回忌、五十回忌、百回忌を行い、以後は五十年ごとに行います。

(4) 建碑式（建碑法要）^{けんびしき}

新しく墓石や記念碑を建立したときに行います。魂や性根を入れるということではなく、私の心を新たに、これからの維持だけではなく、先人の願い・思いを偲び、阿弥陀如来さまのお慈悲を讃嘆させていただく儀式（法要）です。

(5) 入仏法要

ご本尊を初めてご安置させていただいたときや、あらたにお仏壇を迎えられたときには、入仏法要（入仏式）をお勤めします。

「お仏壇を買ったから魂を入れて」とは決していわないように。お仏壇には霊が宿ったり魂が宿るところではありません。